

石心会グループ
社会医療法人財団 石心会
医療法人社団 東京石心会
医療法人社団 新東京石心会
社会福祉法人 石心福祉会
http://www.sekishinkai.or.jp

海燕

うみ つばめ

2020年10月 89号
石心会 BULLETIN 隔月刊
発行人：石井暎禧
編集人：辻田征男
発行：石心会法人事務局
〒212-0014 川崎市幸区大宮町23番地5
コーラルビル
TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

川崎幸病院 Teams 活用報告  Microsoft Teams

はじめは、 業務改革の道具として



植田宏幸 川崎幸病院 事務部長

2020年3月、山本晋・川崎幸病院院長の直轄で創設された「業務改革室」の取り組みとして、まさに業務改革の視点からTeamsが始まりました。

当時はZOOMがオンライン会議の主流で、山本院長は電子情報開発部の原田昌明部長に「会議を効率化するため、オンライン会議をしたいのでZOOMの活用について支援してほしい」と相談をしたところ、「セキュリティの観点から、大手のオンライン会議システムの方が良いです」との返答でした。そこで紹介されたのがMicrosoft社のTeamsでした。

3月初旬、業務改革室（4名）のTeamsアカウントを作成しオンライン会議を開始しました。その後、コロナ陽性者が国内100名/日を超え始めた3月26日に、当院のコロナ対策会議（コロナ本会議）メンバーや病院幹部（院長・副院長・各部長）が、いつでもオンライン会議ができるようTeamsアカウントを追加作成しました。

オンライン会議に慣れていないメンバーは、「院

長がやるというので、少し気が進まないけどやってみるか・・・」と一歩踏み出してみたところ、Teamsを活用する事例が続き、Teamsの効果が早速発揮されたのでした。

事例1【3月31日（火） 準夜帯】

ERで経過観察していた患者が新型コロナウイルス陽性者の判定となり、夜間緊急Teams会議を行い対応策決定。

事例2【4月2日（木） 午前1時頃】

心肺停止の救急患者がコロナ陽性の疑い濃厚となり、Teamsにて緊急会議を実施し対応策を決定。（翌日PCR陽性と判明）

立て続けに起きた新型コロナ陽性患者の対応を通して、コロナ本会議メンバー全員がTeamsでつながっていて本当に良かったと感じた瞬間でした。もしTeamsがなかったら、現場の情報が錯そうし、方針も徹底されなかったことは容

海燕89号 目次

特集①「Microsoft Teams 活用報告」……………	1	私が医師を選んだ理由……………	8
特集②「医師招聘部におけるteamsの活用について」	3・4	教えてくださいあなたのモットー……………	9
「埼玉石心会病院 COVID-19 重点医療機関に」……………	5	読書の勧め……………	10
「新型コロナウイルス感染症対策本部とその活動について」	6	石心会カレンダー……………	11
石心会グループ職員サイトのご案内……………	7	学会発表一覧……………	13
みんなの健康塾 8周年……………	7		

易に想像できました。

なぜTeams運用が進んだのか？

①コロナ対策による対面会議全面中止

まず、コロナ禍により院内で3密を避けるため、すべての会議を3月より中止しました。会議を中止したことにより、今まで無駄だった会議も多くあったことを実感しました。その半面、会議をしないことにより情報の断絶が起こり、病院の運営が難しい面もありました。

例えば、診療部長会議では、コロナ対策において、医師のリーダーシップが必要です。ところが病院方針を书面やCoMedix(院内情報サイト)で発信してもなかなか医師全体に伝わらないことがありました。

そこで各診療部長間のオンライン会議が必要となり、診療部長全員にアカウントを作成し、Teamsによるオンライン診療部長会議を行うことになりました。しかしオンライン診療部長会議1回目は、無線LANのデータ通信許容を超えてしまい失敗し、リアル会議に切り替えて開催しました。

2回目以降は、LANケーブルを使用した参加を促すことによってスムーズに会議が進行し、リアル会議と同じように活発な議論が行うことができました。



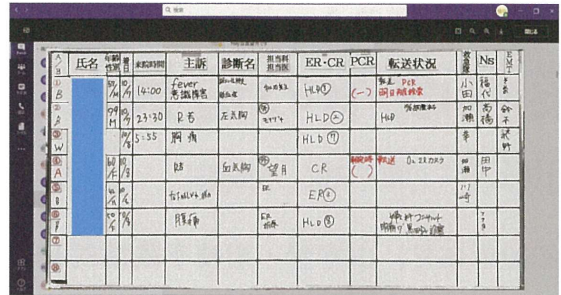
診療部長会議

②チャット機能とオンラインカンファレンスによるタイムリーな情報共有

コロナ禍でも救急を断らずに受けていくためには、現場判断だけでは困難なケースもありました。そこでTeamsでERチャットを立ち上げました。

このチャットによってERで起こっている問題

について、常時コロナ本会議メンバーをはじめ病院の全管理職と共有することが可能となりました。病院全体でERの転院搬送の相談や、PCR検査依頼などもチャット上で24時間やり取りが行われています。また、毎朝9:00より全診療科、看護部、医療技術部、事務部も参加したERカンファレンスを行っており、患者情報の共有にとどまらず病床状況などもチャットとERカンファレンスで共有されています。



ER ホワイトボード

③リアル社会では少なかった職員同士の接点が増加

これまでは、PHSやE-mailでのone to oneでの情報伝達が、Teamsによってコミュニティー全体に情報共有ができる状況となり、職員同士の接点が増えてコミュニケーションが劇的に増えました。

また、JAMAやNEJMなどに掲載されたCOVID-19に関する最新知見を医師がチャットに上げているため、これまでこのように文献に接する機会がなかった医師以外の病院職員も医学的知見をリアルタイムで共有できるようになりました。



根本隆章(感染制御科部長兼臨床研修部副部長)医師のチャットの画像

④主要メンバーが日程調整や場所的制約もなくオンラインで会議が行える

ERの緊急事態をはじめ、いつでもオンラインで会議が開催でき、迅速な意思決定が可能となりました。

また、埼玉石心会病院の院長・事務部長、さいわい鶴見病院の院長・事務長と当院を含め、月に2回定期的な情報交換を目的としたTeamsオンライン会議を行っています。病院間でコロナ対策などの共有がなされ、相互補完できていると感じています。これはTeamsなくしては実現不可能なことと考えます。



Teams運用の効果と今後

病院会議

Teams運用の効果

①院内情報の常時共有

重要情報の共有だけでなく、重要度の低い情

報共有できること。

②Teams上にはリアルタイムで情報が飛び交う

アカウント登録してあればいつでもだれでも共有できます。電話やメールとは全く違う点です。

今後について

私たちはこれまでと同じことを漫然と続けていては、様々な社会環境の変化に翻弄されることとなります。そうならないために、院内での情報共有の場と機会を増やし、職員同士が共感し、社会に即した病院に変化していかなければなりません。

その一翼を担うのがTeamsで、情報共有という観点では、当院の革命的变化といえます。Teamsと現実のコミュニケーションと併用することで、オンラインとオフラインの融合(OMO※)が行われ、病院内で発生する問題も早期に解決されていくこととなります。こうして、社会環境が変化して行く中でも、地域に求められる機能を維持し、さらには発展し続けることが可能になると考えています。

※OMO :online merges with offline

医師招聘部でのTeams活用について

紀平浩幸 法人事務局 医師招聘部 副部長



医師招聘部ではTeamsを活用することで大幅な業務改善に繋がりました。

以下、2つの事例を報告します。

1. 「医師招聘チャット」の設置(神奈川地区)

神奈川地区の事業所では招聘対象の診療科や医師毎にチャットを設置しています。メンバーは担当リクルーターに加え、事務(部)長・対象診療科の責任医師らで構成されますが、候補

者の重要度によっては院長も参加することがあります。病院～クリニックを横断したメンバー構成のチャットも存在します。面接の日程調整から雇用条件まで、医師の招聘に関する情報共有だけでなく方針決定までもがチャット内で議論できるようになりました。

また初期臨床研修医の採用においても選考委員6名をメンバーとした専用チャットを作成し、チャット上で面接日程の調整や選考の議論を行

うことで集合形式での選考会議の回数を例年の半分に縮小することができました。

これらは従来の電話やメールでの連絡に比べて決定事項の圧倒的なスピードアップだけでなく、医師招聘という非常にセンシティブな業務工程

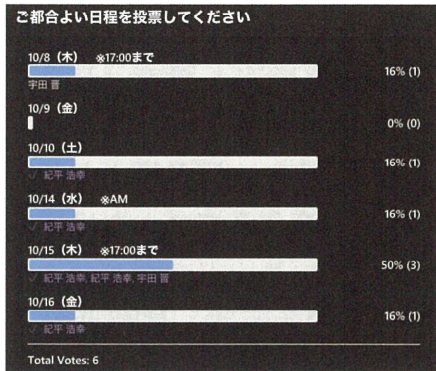


図1 複数人数間の日程調整もわかりやすい

においてメンバー間の「いつでも相談、確認ができる」という安心感にも繋がっていると実感しています。

2. 会議機能を活用した医師の「オンライン採用」

川崎幸病院では会議機能を応用することで医師面談や施設見学をTeams上で実施しています。

これによるメリットは以下の通りです。

- ・ COVID-19の市中感染リスクを考慮することなく招聘活動が可能。
- ・ 移動時間やコストが掛からないため日程調整がしやすくなり、面接進展率が上昇した。
- ・ 施設内部録画データを画面共有で流したりスマホで現場をライブ撮影してバーチャル施設見学が可能。
- ・ 録画内容を面接者以外にも共有することによって多角的な採用判断が可能。



図2 オンライン面談の様子

実際にオンライン採用で入職した医師からのコメント：

米国から日本に帰国の際に川崎幸病院とオンライン面談を体験させていただきました。紀平さんよりパワーポイントを使用した病院

の概要の説明の後に、実際にカメラを持ちながらリアルタイムに病院の循環器病棟、カテテル室、CCU、医局などを写していただき、様子がよくわかりました。実際に入職した際にも、オンラインで案内していただいた時との印象の差はあまり無く、スムーズに病院に馴染むことができました。

川崎幸病院 循環器内科 安藤智医師（2020年8月入職）

また、来年度川崎幸病院で初期研修を検討する医学生を対象にプログラム説明・施設見学・上級医との面談も完全オンラインで実施しました。病院に直接訪問ができない・対面でコミュニケーションが取れないことが原因で応募者数は例年に比べて減少しましたが、中間公表では11名の第一志望者を得ることができオンラインでもファンを作ることが実証できました。

医師招聘部スタッフはこれらの業務をデスク上だけでなく事業所への電車移動中などでも行っています。各事業所に訪問する前段階までに採用決定者との情報共有や方針内容を確認することで、対面での打ち合わせではより重要度の高い意思決定や問題解決に時間を割くことができ、生産性の大幅な向上に繋がっています。

未活用の事業所にはぜひ活用いただくようお勧めします。

埼玉石心会病院が COVID-19重点医療機関に



石原正一郎 埼玉石心会病院 病院長

埼玉石心会病院では、2020年3月頃より到来した新型コロナウイルス感染症に対し、早期より積極的に取り組みました。保健所からの要請によって、帰国者接触者外来を開始し、ERに受診する救急患者対応に加えコロナ対応に追われました。

当初は感染対策室はじめ院内各部署で混乱や不安が拡がり、未経験の試練に日々振りまわされました。4月始めに病院全体の情報共有や意思決定などをより確実にするため、新型コロナウイルス感染症対策本部を開設。約20名ほどの主要メンバーが毎朝集合し日々の情報共有と対応課題の抽出、対策決定を行いました。

職員全体の協力と努力で、何とか春の第1波は乗り越えることができました。不安と責任感の中で頑張ってもらった職員および関係者には改めて心から感謝しています。

埼玉県のと要請で重点医療機関に

埼玉県の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制は4ステージに分けられ、県内に準備すべき病床数は各ステージごとに定められています。

盛夏になっても感染が収束せず、埼玉県ではそれまでのステージ3（県内1,000床確保）からステージ4（県内1,400床確保）へ向けて病床確保のギアを上げることとなり、当院にも重点医療機関として正式な受け入れ要請が届きました。

当院はもともと感染症指定病院や呼吸器疾患専門病院ではないため、当初より当院への新型コロナウイルス感染患者の受け入れは行っておらず、主に救急外来患者の中に新型コロナウイルス感染症疑似例が多く存在しました。たとえ陽性患者を受け入れなくとも、感染リスクを回避するための対応としてマスクや帽子、ガウンなどといった完全

防御服をまとい、対応エリアは一般患者との動線を分け、隔離空間での対応が必要でした。

新型コロナ感染症患者を受け入れる重点医療機関になるにあたって、いくつかの事が頭をよぎりました。近隣の病院を含め全国で多々発生していた院内感染を起こさずに乗り越えられたのは、職員の協力はもとより、当院の感染対策や現場で行われた対応が間違っていなかったことがあげられます。

特に感染へのリスク回避を優先して地域医療や救急対応を縮小する病院が多い中、当院ではむしろそのような時だからこそ、地域の救急患者さんを断らないことを前提として、その上での感染対策をみんなで実行しました。しかし、感染のリスクと不安によって患者さんの病院離れ、職員の自粛傾向などが重なり経営面でのマイナスが大きかったこともありました。

地域医療、救急医療に加え コロナ対策も全職員で

こんな思いをもちながら、地域における社会的責任を全うするため、埼玉県全体で進める今回の感染対策に参加することを決意しました。当初県からは27床の受け入れ病床確保の要請がありましたが、県の医療整備課と交渉を続け地域での救急を支えている当院の実情に無理ないような条件で4 A20床病棟を県側に承諾していただき、重点医療機関の指定を受けました。それに加えて現時点で行っている感染対応などに対して経費補償が得られました。（10月8日より4 Aから4 Bへ移動）

県の行政側は、当院がコロナ渦で県内どこよりも救急患者を受け入れている状況を把握して

いて、その活動を継続できる範囲での新型コロナ感染患者受け入れ体制を容認いただきました。

院内では第1波の経験と自信が後押しして、また次なる対応を要する場合には協力しますという意思表示してもらった職員が大勢いたことは大変嬉しいことでした。実際に9月1日より開始した新型コロナ感染陽性患者の受け入れは、

予想よりはるかにスムーズで、救急外来や病棟での運用には何ら支障を来さずに経過しています。

気温も下がり、秋冬の病院としての繁忙期を迎え、これまでの地域医療、救急医療に加え新型コロナ感染対策のミッションを職員全体で取り組もうと思っています。

新型コロナウイルス感染症対策本部とその活動について



工藤秀行 埼玉石心会病院 事務部長

3月に新型コロナウイルス感染 (covid-19) が急激に感染拡大し、疑似症患者が増加していく中、病院全体で関係部門が組織的に介入する必要性が生じ、病院長のもと対策本部が立ち上がりました (図1)。

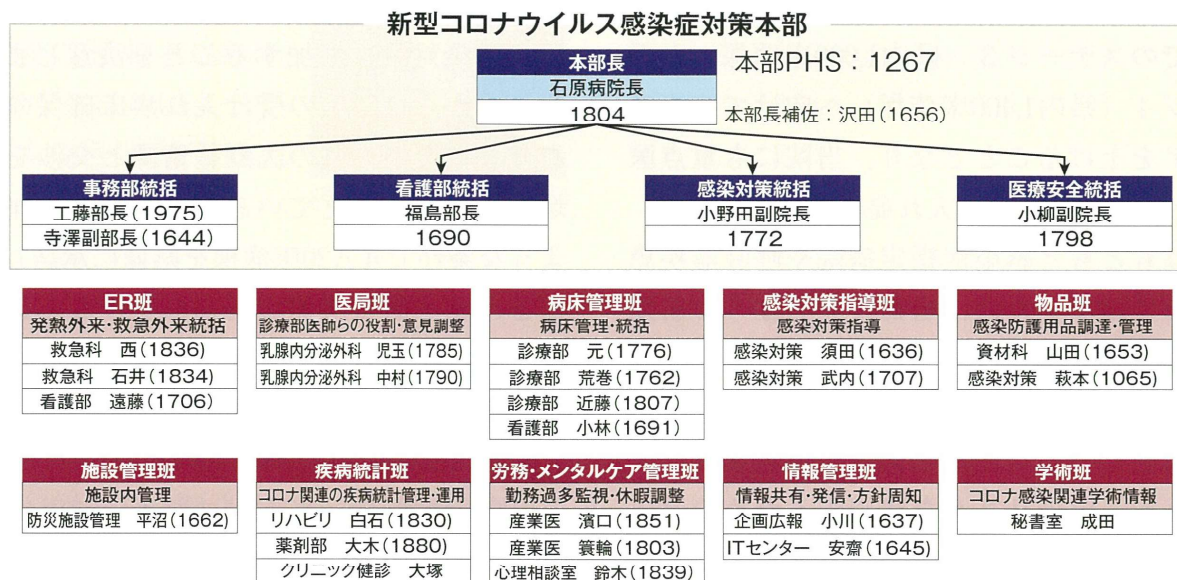
本部メンバーは本部長 (病院長)、事務部統括 (事務部長・事務副部長)、看護部統括 (看護部長)、感染対策統括 (副院長)、医療安全統括 (副院長) で構成され、毎朝8:30に開催されるミーティングには、他にER班、医局班、病棟管理班、感染対策指導班、物品班も集まり、情報共有や本部長からの方針が示されました。

活動を一部を紹介すると、労務・メンタルケア管理班 (以下、管理班) は、産業医・臨床心理士で構成され、スタッフのサポートを組織的に行っています。面談を部門単位で実施し、職員のメンタルサポートをおこなっています。

本部の立ち上げにより、情報共有をしながら新型コロナウイルス感染症対策を組織的な取り組みとして対応できたことは、組織が新たな価値を創造できたのではないかと感じております。

また最近では、teamsでベッドの運用状況などを院内関係部署と情報共有するなど、新たなコミュニケーションツールで新たな試みを行っております。

図1 新型コロナウイルス感染症対策本部



石心会グループ職員サイトのご案内

今般の状況を鑑みまして、石心会グループの職員の皆さんへの緊急連絡ツールとして、「石心会グループ職員向けサイト」を開設しています。法人として重要な情報が掲載していきますので日々ご確認ください。

■URL


<https://www.sekishinkai.or.jp/staff/login.php>

※石心会グループサイトのトップ画面の右上・右下にある「職員サイト」をクリック

※ログイン手順は下記をご覧ください

■ログイン手順

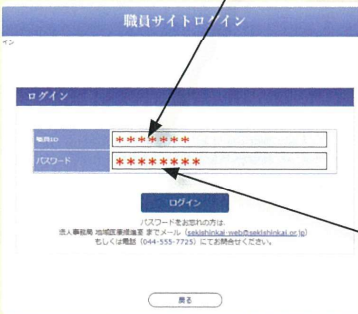
①法人グループサイトかQRコードからログイン



職員サイトQRコード

②職員ログイン画面とパスワード設定について

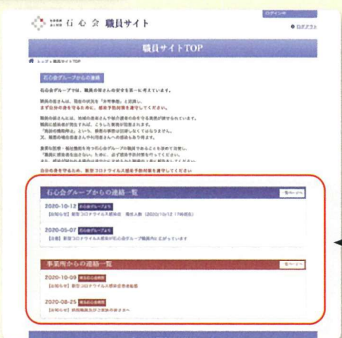
職員IDは給与明細に記載されている番号です



初期設定のパスワードは、【職員番号の後ろに英小文字の〈x〉】です。
(例:職員ID = 1234、パスワード = 1234x)

パスワードの再設定を求められるので再設定をお願いします

③設定したパスワードで職員サイトにログイン



法人からのお知らせ
所属施設からのお知らせが閲覧できます

「みんなの健康塾」 9年目を迎えオンライン化 WEBサイト「みんなの健康ちゃんねる」へ

鍋島紋子 法人事務局 事務局長補佐（戦略PR担当）／地域医療推進室室長



神奈川地区は10月1日に、埼玉地区は11月1日に、【みんなの健康塾】は8周年を迎えました。

「医療・健康情報を地域の方々に」と始まった【みんなの健康塾】の講演は、神奈川地区でのべ2,559回開催。参加人数はのべ141,923人、埼

玉地区で3,564回開催、117,472人となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2月末で講演のイベント開催は中止となりましたが、6月1日にWEBサイト【みんなの健康塾ちゃんねる】を開設し、地域の方々や医療や健康



神奈川地区 開催当時2012年10月2日

情報を求めている方々への情報発信を再開しています。

イベント時と同様に、石心会グループ職員の出演のほか、地域の開業医師や医療機関の方々のご出演や学校や地域団体との連携も引き続き続けて参ります。

PRされたい診療や取り組みなどがありましたら、お気軽にお声がけ下さい。

9年目の【みんなの健康塾】もどうぞよろしく願いいたします。



埼玉地区 開催当時2012年11月1日



みんなの健康塾ちゃんねる
神奈川地区



みんなの健康塾ちゃんねる
埼玉地区



私が医師を選んだ理由

私の実家は海沿いの小さな町にあり、代々開業医の家系だった。祖父は早世しているため詳しくは知らないが、地元のため医学的に経済的にと尽くした人らしい。

実家の前には、地元の人たちから寄贈された祖父の胸像が建っている。そのような家だったためなのか、父の時代は貧しかったようで父は奨学金で進学しており、実家も借地であれば家だった。

父はよく「親父（祖父）は名誉をもらえたが、それでは食えなかった。だから自分は財を成す」と話していた。しかし実際は朝から夜遅くまで懸命に患者さんたちのためにできる限りのことをしていた。



父母と

大人だろうが子どもだろうが内科、小児科、整形外科、皮膚科、今でいう家庭医そのものだった。そのため小さな町ながら、患者さんたちはひっきりなしに来院しており、患者さんたちからの信頼が厚いことは私も子ども心に感じていた。

では私はというと、幼少期から実家を継ぐしかないと言われ続けたことへの反発から、医師になることだけは

避けたいと思っていた。というより、父のようにになれる自信が全くなかったのが正直なところだった。典型的な開業医の放蕩息子、バカ息子そのもので、自分ながらその愚かさっぷりはそれなりのレベルだったように思う。

一時魅力に感じた職業もあつたが、医師の崇高さを、父を通して学んでいた私には自分が前に進むための時間が必要なだけだったように思う。

医師になって以来、父が私に示し

てくれた医師としての在りようを自分は体現できているのだろうか、私自身いつも気にしている。さて父であるが87歳現在、産業医だけとなったがまだまだ現役である。

本当にありがたいことだと思う。

池田直史

さやま腎クリニック 院長



避けたいと思っていた。というより、父のようにになれる自信が全くなかったのが正直なところだった。典型的な開業医の放蕩息子、バカ息子そのもので、自分ながらその愚かさっぷりはそれなりのレベルだったように思う。

一時魅力に感じた職業もあつたが、医師の崇高さを、父を通して学んでいた私には自分が前に進むための時間が必要なだけだったように思う。

医師になって以来、父が私に示し

てくれた医師としての在りようを自分は体現できているのだろうか、私自身いつも気にしている。さて父であるが87歳現在、産業医だけとなったがまだまだ現役である。

本当にありがたいことだと思う。



美ヶ原で撮った大学生時代



研修医1年目の消化器内科研修中



おしえてください
あなたのモットー

メリハリのある生活

「張り詰めた弦は切れる」これは釈迦如来の言葉のようですが、オランダ留学時代に同僚たちが就業中は仕事だけに集中し、いったん仕事から離れると存分に人生を楽しむ生活を間近かに見て以来、このような生き方をモットーとしてきました。俗にいう「メリハリのある生活」です。

若いときには、今でいう働き方改革といった言葉もなく、大学の外科医局というタコ部屋の生活で、それこそ馬車馬みたいに仕事に追われる毎日の中、遊びたいときには睡眠時間を削って必死に遊んでいたのを覚えています。(今日のような強制的な働き方改革は医療には馴染まないと思っている古い人間ですが)。

若い時分からそんな生活をしていると、不思議なものでどんなときでも対応できる気力と体力がつくものです。還暦からすでに数年が経ちますが、メリハリを大事



にしながらまだまだ進化を、と思っています。

30代後半から始めた水泳とマラソンに加え、50代ではトライアスロンに挑戦。60代になり膝の負担を考え本格的な走りはやめたものの、泳ぎでは個人メドレーに挑戦し一昨年にはなんとか200mを完泳。またピアノも60の手習いで始めました。

そんな最中のコロナ禍です。泳ぎは中断を余儀なくされていますがピアノを始めていたおかげで、今は暗譜でのピアノ演奏に挑戦しています。「好奇心」「挑戦」そして「行動」を大切にしながら仕事にも遊びにも全力投球。そんなメリハリのある生活が活力の源でしょうか。

一度しかない人生、せっかくだいだいた命だからこそ日々感謝しながら一所懸命、過ごして行きたいものです。

関川浩司

第二川崎幸クリニック 院長





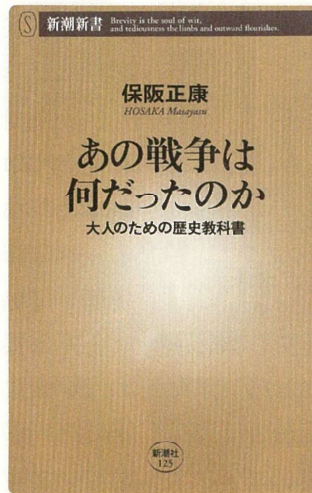
「あの戦争は何だったのか？」

保坂正康 新潮新書



辻田征男

社会医療法人財団石心会
専務理事／事務局長



「天国への道を知る最良の方法は地獄への道を探求する事である、とマキアヴェッリは言ったが、戦後日本人はその事をしてこなかった。この本はそれを教えてくれる。」これは、塩野七生氏によるこの本の推薦文である。

今から70数年前、日本は他国の国民を巻き込みながら310万人の日本人の命を失う太平洋戦争（第二次世界大戦）を経験した。まさにこれは日本人自身が招いた災禍であるが、こうした惨劇を繰り返さないためには太平洋戦争の総括が必須である。

1944年生まれの私は、母の胎内にいる間に国から召集を受けた商社マンであった父を中国戦線で亡くしている。そのため父の顔は写真でしか知らない。神戸にあった実家は米軍の空襲で跡形もなくなった。結果、私はその後の18歳までの人生を母の実家（滋賀県）で、母とも離れて暮らすことになった。

こうした戦争がなければ、私の人生は全く異なったものになっていたに相違ない。

太平洋戦争後の長い間、日本及び日本人は直接の戦

争とは無縁でいられた。多くの国際紛争があったが、それらはどれも対岸の火事と言ってよいものであった。

振り返れば私の生い立ちはいささか不規則なものであったが、おかげで自分が不幸だと思った事は一度としてない。

不幸だったのは父や同世代の無念の

死を遂げた人たちである。

近年、中国の軍事的台頭、北朝鮮の核武装、米中对立など日本周辺でもきな臭い事象が多発している。日本もそうした国際情勢の変化に合わせ徐々に昔来た道をたどりつつあるとする意見もあるが本当にそうなのか？

この本はそうした、「昔来た道とは何であったのか？」ということを探求した本である。副題は「**大人のための歴史教科書**」となっている。

いわゆる新刊本ではないが内容はちっとも古臭くない。

一読をお勧めしたい。

石心会カレンダー 2020年11月1日～12月31日

神奈川地区

埼玉地区

2020年
11月

1日 日
2日 月
3日 火
4日 水
5日 木
6日 金
7日 土
8日 日
9日 月
10日 火
11日 水
12日 木
13日 金
14日 土
15日 日
16日 月
17日 火
18日 水
19日 木
20日 金
21日 土
22日 日
23日 月
24日 火
25日 水
26日 木
27日 金
28日 土
29日 日
30日 月

【霜降】
そうこう

【立冬】
りっとう

【小雪】
しょうせつ



文化の日

11月5日(木)
フレッシュナース
Autumn 研修
ーやさしく学ぶ看護倫理ー
～日常に潜む看護倫理に気付く～

11月6日(金)
appleコースV
ー口腔ケアコースー

11月6日(金)
地域医療連携セミナー

11月9日(月)
appleコースVI
ークリティカルケアコースー
～人工呼吸器管理マスターコース～

11月12日(木)
看護部研修
ラダーI-①

11月14日(土)
クリニカルラダー
レベルⅢ対象者研修
ー患者理解を深めようー



11月19日(木)
看護部研修
ラダーI-②

11月19日(木)
ライムナース
Autumn 研修Ⅱ
ーフィジカルアセスメントⅢー
～アセスメントで捉えた患者の身体的ニーズをケアにつなげよう～

11月6日(金)
appleコースⅡ
ーがん看護コースー



勤労感謝の日

11月25日(水)
看護部研修
キャリア

11月26日(木)
appleコースⅢ
ー認知症ケアコースー

11月26日(木)
クリニカルラダーレベルフリー研修
ー摂食嚥下看護ー

2020年
12月

1日 火
2日 水
3日 木
4日 金
5日 土
6日 日
7日 月
8日 火
9日 水
10日 木
11日 金
12日 土
13日 日
14日 月
15日 火
16日 水
17日 木
18日 金
19日 土
20日 日
21日 月
22日 火
23日 水
24日 木
25日 金
26日 土
27日 日
28日 月
29日 火
30日 水
31日 木

【小雪】
しょうせつ

【大雪】
たいせつ

【冬至】
とうじ

12月4日(金)
 クリニカルラダーレベルⅢ対象者研修
 -患者理解を深めよう-

12月9日(水)
 看護部研修
 ラダーI-①

12月10日(木)
 看護部研修
 ラダーⅢ

12月9日(水)
 appleコースVI-クリニカルケアコース-
 ~人工呼吸器管理マスターコース~

12月10日(木)
 クリニカルラダーレベルⅣ対象者研修
 -看護実践を振り返る-

クリニカルラダーレベルフリー研修
 -摂食嚥下看護-

12月17日(木)
 appleコースⅢ-認知症ケアコース-

クリニカルラダーレベルフリー研修
 -摂食嚥下看護-

12月24日(木)
 appleコースII-がん看護コース-



石心会グループ学会発表一覧

2020.7~2020.9

◆川崎幸病院

学会発表

診療部

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
長谷聡一郎	大動脈センター	2020.9.12	Cardiovascular and Interventional radiological Society of Europe	Endovascular stent placement for acute upper limb ischemia following central repair of a type A acute aortic dissection	web	一般口演

【全国学会】

長谷聡一郎	大動脈センター	2020.7.10	第26回日本血管内治療学会総会	胸腹部大動脈人工血管置換後再建腎動脈閉塞に対するPTAの治療成績	web	一般口演
大島 晋	大動脈センター	2020.8.17	第50回日本心臓血管外科学会学術総会	川崎大動脈センターの胸腹部大動脈瘤の治療成績 8年間 327例の検証	web	一般口演
平井雄喜	大動脈センター	2020.8.17	第50回日本心臓血管外科学会学術総会	当センターにおけるUncomplicated type B dissection治療の成績	web	一般口演
広上智宏	大動脈センター	2020.8.17	第50回日本心臓血管外科学会学術総会	当センターにおける感染性胸部大動脈瘤に対する手術成績の検討	web	一般口演
長谷聡一郎	大動脈センター	2020.8.25	第49回日本IVR学会総会	Complicated typeの大動脈解離に対するZenith TX-Dを用いた30例のendovascular治療成績	神戸	一般口演
長谷聡一郎	大動脈センター	2020.8.27	第38回日本Metallic Stents & Grafts 研究会	Case based discussion 「Hostile neck: 私の考えるEVAR」	神戸	座長
長谷聡一郎	大動脈センター	2020.8.27	第38回日本Metallic Stents & Grafts 研究会	Complicated 急性大動脈解離に対するTEVAR57例の治療成績	神戸	パネルディスカッション
壺井祥史	脳神経外科	2020.7.10	第26回日本血管内治療学会総会	当院における穿刺部トラブル症例の検討	名古屋	口演
長崎弘和	脳神経外科	2020.8.24	第45回日本脳卒中学会学術集会	血栓回収療法における来院から治療開始までの時間短縮への院内体制の整備について	横浜	シンポジウム
壺井祥史	脳神経外科	2020.8.24	第45回日本脳卒中学会学術集会	症候性頸部内頸動脈閉塞に対する急性期CASの有効性	横浜	ポスター
成清道久	脳神経外科	2020.8.25-26	第45回日本脳卒中学会学術集会	急性期血栓回収療法における頭部CT灌流画像解析ソフト4D-brain perfusion	横浜	口演
伊藤慎吾	外科	2020.8.13-15	第120回日本外科学会総会	Stage IV大腸癌の原発占拠部位別にみた生存期間の解析—大腸癌術後フォローアップ研究会登録症例の検討—	web	一般演題
伊藤慎吾	外科	2020.8.11-13	第106回日本消化器病学会総会	OTSC® Systemで治療した回盲部切除術後縫合不全の1例	web	一般演題
桃原哲也	循環器内科	2020.7.27-8.2	第84回日本循環器学会学術集会	TAVI モーニングセッション	web	座長
桃原哲也	循環器内科	2020.7.27-8.2	第84回日本循環器学会学術集会	TAVI モーニングセッション	web	座長
桃原哲也	循環器内科	2020.7.27-8.2	第84回日本循環器学会学術集会	シンポジウム 心原性ショック ディスカッション	web	講演
桃原哲也	循環器内科	2020.7.27-8.2	第84回日本循環器学会学術集会	TAVI ランチョン	web	座長
塚原知樹	腎臓内科	2020.8.21	第63回日本腎臓学会学術総会	実践!電解質道場~生理学から臨床現場への応用~ 気をつけるべき薬剤	横浜	シンポジウム
小向大輔	腎臓内科	2020.9.19	第26回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	CAPD関連感染症を考える PD関連腹膜炎の治療	東京	ワークショップ
山崎あい	腎臓内科	2020.9.20	第26回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	腹膜透析患者の横隔膜交通症に対し胸腔鏡下縫縮術を施行した一例	東京	口演

【地方学会】

壺井祥史	脳神経外科	2020.9.5	第18回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	吸引を究める	東京	アフタヌーンセミナー
壺井祥史	脳神経外科	2020.9.5	第18回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	急性期血栓回収療法におけるCOVID-19対応の工夫	東京	シンポジウム

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
鈴木瑛梨	婦人科	2020.9.26-10.2	第431回神奈川産科婦人科学会 学術講演会 (Web開催)	感染性変性子宮筋腫に対して腹腔鏡下子宮筋腫核出術を施行した1例	神奈川	口演
川崎真生子	腎臓内科	2020.9.26-27	第50回日本腎臓学会 東部学術大会	入院中に慢性プロム中毒を想定し得た一意識障害例	LIVE 配信	口演
柏葉 裕	腎臓内科	2020.9.26-27	第50回日本腎臓学会 東部学術大会	彩な臨床症状を呈した成人パルボウイルス B19 感染症の4例	LIVE 配信	口演

【講演会】

伊藤慎吾	外科	2020.9.24	川崎がんゲノム医療コンソーシアム講演会2020	消化器癌	web	パネルディスカッション
宮司正道	総合内科	2020.7.7-14	東京農工大学工学部 生体医用システム工学科「臨床医学基礎II」	内科・ER から見た心臓と循環	東京農工大	講義

看護部

和出 南	看護部	2020.8	第45回日本脳卒中学会学術集会	血栓回収療法のD2Rに関わる診療看護師の役割と成績	横浜	web
和出 南	看護部	2020.9	第18回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	血栓回収療法における診療看護師の役割について	東京	口演
片山亜由子	入院透析室	2020.9.19-20	日本腹膜透析医学会	療法選択外来における当院の現状と課題	東京都	講演

医療技術部

浦池淳一	EMT科	2020.8.27	第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会	病院内救命士の活用と多職種連携	東京	シンポジウム
土屋梨香	EMT科	2020.8.27	第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会	転院検索を救急救命士(EMT)が行うことによる医師業務負担削減の検証	東京	一般演題
土井大海	EMT科	2020.8.27	第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会	新人教育の観点から考える院内救急救命士教育の在り方	東京	一般演題
菱沼啓泰	EMT科	2020.8.27	第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会	救急救命士によるER調整業務の可能性について	東京	一般演題
浅田浩明	リハビリテーション科	2020.7.18-19	第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	大動脈置換術後患者の特性とリハビリテーションにおける我々の知見	ONLINE	シンポジウム
古田佳祐	リハビリテーション科	2020.7.18-19	第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	大動脈置換術後における不安・抑うつに関連因子	ONLINE	デジタルポスター

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
根本隆章	感染制御科	救急外来 ここだけの話	結核	原稿
根本隆章・大前芳男	感染制御科・消化器内科	JOURNAL OF HOSPITAL GENERAL MEDICINE	A Case of Tracheitis Caused by Mesalazine Used for Treatment of Crohn's Disease	case report

◆第二川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
星岡寛英	消化器内科	2020.9.2-3	第99回日本消化器内視鏡学会	検診後のヘリコバクターピロリ診療におけるより確実な検査方法の検討	秋田 (web)	口演

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山根正久	循環器内科	2020.7.9	CTO LIVE AID AGAINST COVID19	INTERNATIONAL CHARITY EVENT: CTO Live World Tour	当院より中継	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.9.4	MLCTO 2020	Antegrade Dissection Re-Entry	フランス (web)	座長
山根正久	循環器内科	2020.9.4	Indo-Japan Web Seminar for CTO PCI	The Impact of New ASAHI Wires on CTO PCI	インド (web)	講演
山根正久	循環器内科	2020.9.11	Euro CTO club 2020	The essentials of guide wires for CTOs / Wires for the retrograde approach	ドイツ (web)	講演

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
阿部敏幸	消化器内科	2020.9.2-3	第 99 回日本消化器内視鏡学会総会	高齢者の胆道疾患に対する経口胆道鏡(SpyGlassDS)による診断及び治療の検討	web	一般・口演
小谷野岳	整形外科	2020.8.20-22	第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会	変形性股関節症患者の歩行解析へのフーリエ変換の応用	web	一般・口演
小谷野岳	整形外科	2020.9.19-21	第 46 回日本骨折治療学会学術集会	大腿骨近位部骨折のワイヤリング併用髄内釘挿入術への斜皮切の応用	web	一般・口演
熊坂礼音	リハビリテーション科	2020.7.18-19	第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	運動中心心電図モニターはわかり	web	一般・口演

【地方学会】

池 信平	循環器内科	2020.7.24	第 56 回日本心臓血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会	TAVI 後に多発性脳梗塞など種々の合併症を併発し不幸な転帰をたどった 1 例	東京	口演
佐々木健一	心臓血管外科	2020.7.16-8.7	第 183 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	急性大動脈解離に対する全弓部大動脈人工血管置換術後に溶結性貧血を呈した 1 例	web	一般・口演
山内秀昂	心臓血管外科	2020.7.16-8.7	第 183 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	CPA 蘇生後の severe AS に対して SAVR で救命し得た一例	web	一般・口演
内野 晃	放射線科	2020.8.29	第 40 回神経放射線ワークショップ	内側型遺残三叉動脈本幹に発生した嚢状動脈瘤	web	一般・口演
山崎美保子	放射線科	2020.8.29	第 40 回神経放射線ワークショップ	非典型的な Pilocytic Astrocytoma の一例	web	一般・口演

【講演】

本田憲業	放射線科	2020.9.20-22	第 60 回日本呼吸器学会学術講演会	画像診断による換気と血流の新たな評価法 キセノンガス吸入と造影剤ボラス注入を順次使用した二重エネルギー CT による CT 換気画像、肺血流画像、換気血流比画像の生成	web	シンポジウム
------	------	--------------	--------------------	---	-----	--------

看護部

福島俊江	看護部	2020.9.26	第4回日本ヘルスダイバーシティ学会	やりがいを引き出す 1on1の対話を通して	東京	シンポジスト
福島俊江	看護部	2020.9.29-10.10	第22回日本災害看護学会	新型コロナウイルス感染症本部立ち上げを経験して	web	口演
福島俊江	看護部	2020.9.29-10.10	第22回日本災害看護学会	台風 19 号と COVID-19 から始まった「まちの減災ナース指導者」の幕開け ~ 行政との組織的な交渉 ~	web	シンポジスト
六反勝美	看護教育センター	2020.8.28-29	第 24 回日本看護管理学会学術集会	地域住民への意識調査から看護部で取り組む ACP を考える	web	示説
森崎紀代美	看護教育センター	2020.7.23-24	第29回日本創傷・オストミー・失禁管理学会	ストーマ合併症による精神的苦痛に対し QOL 向上、病勢の抑制につながる手術までの関わり	web	口演

リハビリテーション部

古津政明	リハビリテーション部	2020.9.25-10.25	第 54 回日本作業療法学会 (新潟)	中等度左片麻痺患者に対する修正型 CI 療法と IVES を導入し、仕事復帰に至った事例	新潟 (web)	口述
------	------------	-----------------	---------------------	--	----------	----

検査部

安藤恭代	検体検査室	2020.9.5-6	第 69 回日本医学検査学会	検査部小部会の活動とリーダー行動の育成	千葉	一般・口演
小出采歩	検体検査室	2020.9.5-6	第 69 回日本医学検査学会	当院の輸血委員会での検査技師の取り組み	千葉	一般・口演
宮川直輝	検体検査室	2020.9.5-6	第 69 回日本医学検査学会	検査部内の活動からの学び~リーダー・フォローシップの関係性を通じて~	千葉	一般・口演

EMT 課

中山遼介	EMT 課	2020.8.27-28	第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術総会	急性期脳梗塞疑い患者の収容依頼時における院内救命士の会入効果について	東京	一般口演
------	-------	--------------	------------------------	------------------------------------	----	------

論文・教科書執筆等

リハビリテーション部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
福原弘之	リハビリテーション部	極める 循環器理学療法	開心術後療法 1) 冠動脈バイパス術 (CABG) 患者に対する理学療法	書籍
川野拓紀	リハビリテーション部	極める 循環器理学療法	開心術後療法 1) 冠動脈バイパス術 (CABG) 患者に対する理学療法	書籍

栄養部

秋山好美	栄養部	歯科が知っておきたい NST 栄養と生活指導のエッセンス	2章 栄養と疾患-その仕組みと考え方 各論心疾患 管理栄養士の立場から	書籍
------	-----	------------------------------	-------------------------------------	----

◆さやま腎クリニック

学会発表

診療部

【講演会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
池田直史	腎臓内科	2020.7.7	Parsabiv Webinar ～エテルカルセチドを活用した SHPT 治療～	CKD-MBD 管理目標値達成に向けた SHPT のより良い治療法について	web (全国)	特別講演
池田直史	腎臓内科	2020.7.17	Parsabiv Webinar ～エテルカルセチドを活用した SHPT 治療～	CKD-MBD 管理目標値達成に向けた SHPT のより良い治療法について	web (全国)	特別講演
池田直史	腎臓内科	2020.9.3	透析カンファ in 猿島	CKD-MBD 管理目標値達成に向けた SHPT のより良い治療法について	web (茨城)	特別講演
池田直史	腎臓内科	2020.9.15	パーサビブ Table Discussion Meeting	CKD-MBD 管理目標値達成に向けた SHPT のより良い治療法について	web (滋賀・京都)	特別講演

編集後記

オンラインツールを使っただけのコミュニケーションには、メリット・デメリットはあるものの、非接触で感染予防ができること、移動時間の短縮、情報共有の手軽さ考えるとメリットのほうが多いと思われる。新しい時代のコミュニケーション手法を積極的に利用した業務の推進が必要となってきた（編集子）

・・・暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海、戸惑い騒ぐばかりの陽らの群れを尻目に、海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

本誌タイトル「海燕」は、M. ゴーリキーの散文集《海燕の歌》（1901）に由来しています。その大意は以上のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。